

2021年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名 飯野 祥之	職名 助教	学位 修士(看護学)(九州大学 2012年)
----------	-------	------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
成人看護学 看護教育学	看護基礎教育 臨床判断 アクティブラーニング

研 究 課 題
・看護学生の臨床判断力向上を目指した研究。 ・コロナ禍の学内看護学実習における学生の学びに関する研究。

担 当 授 業 科 目
成人看護学演習(前期 看護学科) 成人急性期看護学実習(後期 看護学科) 成人慢性期看護学実習(後期 看護学科)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 成人看護学演習(前期 看護学科) 】 ＝看護過程＝ 1. 肝硬変患者、胃癌の術後の患者の事例を用いて、看護過程の展開についての指導を行った。 看護過程の内容としてデータベースアセスメント、フォーカスアセスメント、全体像、看護計画の立案 看護計画の評価などについて講義とグループワークにて授業が進められた。 2. 講義毎に看護過程の記録の課題があり、グループ単位で課題ファイルの提出を求めた。 教員は課題ファイルのチェックを行い、グループごとの理解について確認した。指導が必要な点について 教員間で情報共有を行い、統一した指導を行えるように配慮した。 3. グループワーク時に教員が適宜巡回し、疑問点などをその場で解消できるように指導した。 アセスメントに必要な病態などの知識が不足している場合は、教科書の該当ページなどを学生と一緒に確 認し、根拠のあるアセスメントが出来るように学習を促した。また、アセスメントの視点がずれている場 合が多かったため、各パターンのアセスメントの視点をかみ砕いて説明するとともに、アセスメントに必 要な指標についても提示を行った。 ＝技術演習＝ 1. 胃癌の術後患者に対する全身観察や清拭・更衣の援助について、モデル人形や模擬患者を用いた演習を 行った。 2. 学生が術後患者の創部やドレーンの挿入部位等について体感的に学べるよう、術後患者の創部やドレーン の挿入部位などを模擬皮膚の作成を通して再現する工夫を行った。 3. 術後の患者の入室時の観察や清拭・更衣についての技術演習の練習時に指導を行った。 手術や病態について学生の知識の及ばないところは参考書などに戻して根拠つけたケアを行えるように指 導した。既習の知識については教員側から積極的に問いかけ、記憶の想起や知識の深化・定着に努めた。 また、術後患者の観察について、初回の説明時はかみ砕いて説明するとともに根拠を説明し、実技練習の 際にその根拠を問いながら演習を進めた。

授業科目名【 成人急性期看護学実習（後期 看護学科） 】

1. コロナ禍の影響により一部を除きほぼすべての実習が対面での学内実習となった。
2週間の病棟実習を模した実習内容として患者役の教員とのコミュニケーションや模擬電子カルテの情報を基に看護過程の展開を行った。立案した内容に沿って術後の全身観察、清拭・更衣・離床の実践、パンフレットを用いた退院指導の実践を行った。それぞれの実践は、モデル人形や学生・教員が演じる模擬患者に対して行われた。
2. 患者事例の作成においては、急性期患者の理解などを含めた実習目標を達成する為に必要な情報を盛り込むことを意識した。
患者の身体的側面として、日々の情報収集やケア実践において術後患者の回復過程を学生が感じられるように、患者の疼痛の状況・ドレーンの排液の状況・バイタルサインの変化・離床の状況などが日々回復に向かって変化していくようにした。また、心理的側面や社会的側面を表現するために手術に対する不安などの発言や退院前の生活の情報、家庭内や職場での役割などがわかる情報を盛り込んだ。
3. 個別の指導としては、術後侵襲における生体反応、事例ごとの疾患、術後全身管理について事前学習内容を明確に提示して、術後の早い看護展開についていけるように学習を促した。また、術後の患者状態の理解を促すために、患者状態の説明をかみ砕いて行った。また、術後の変化やケアについて説明し、教員も一緒に観察やケアに入るようにして学生の理解力、看護技術の習熟度の把握に努めた。看護過程についての理解が進んでいない場合が多かったため、看護過程の各セクションの書き方や視点などについて演習の講義資料等をもとに学生の進行に合わせて説明を行った

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本看護研究学会	一般会員	2010年7月～現在に至る
日本看護科学学会	一般会員	2021年7月
日本看護教育学会	一般会員	2021年9月
日本看護シミュレーション学会	一般会員	2021年9月

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）
1 年次アドバイザー(2021. 4.1～2022. 3.31) 研究推進委員(2019. 4.1～現在に至る)